

平成 28 年度 亀田東児童館事業実施報告書

1 実施した事業

2 自己評価

3 課題と対応

1 健全な遊びを通じた児童の集団及び個別指導

① つくって遊ぼう！（創作活動室） 第2水・土曜日

(4/9、13、5/11、14、6/8、11、7/6、9、8/10、9/7、10、10/5、8、11/9、12、
12/7、10、1/11、14、2/8、11、3/8、11)

(自己評価)

今年度も、基本第2水・土曜日に工作行事を行い、水曜日は幼児向け工作、土曜日は小学生向け工作を行う。幼児向け工作では、0～3歳児位までの幼児が参加し、親子で取り組むことが出来る内容で行なった。子どもの発達に親が気付く場面もあり、工作行事を通じて親が子どもの成長の新たな気付きや発見の場となったと感じている。また、作った工作は家でも遊べるものを多く採用したため、家庭でも楽しんでもらったのではないかと思う。小学生向けの工作では、子ども達が興味を持てる内容に努めた。季節にちなんだ工作などを行ない、多くの小学生に参加してもらった。「可愛い小物作り」は、女の子に非常に人気があり、電話での予約やキャンセル待ちになるほどだった。幼児・小学生共に、物作りの楽しさ、完成できた時の達成感や完成度を味わってもらえたと思う。

(課題と対応)

毎月の定例イベントであるが参加者にバラつきがある。単に興味をそそらない内容ということではなく、日にちが合わなかったことや、単に忘れていた事もあった。今年度も内容充実を努め、季節に合ったもの、カレンダーに沿ったものなど子ども達の意見を取り入れて行った。可愛い物は、ニーズがあるので次年度はそういった物を多く提供していきたい。

今後も工作の内容や、PR活動のより効率的な方法を工夫していかなければならない。

② 遊戯室で遊ぼう！（遊戯室）

(4/25、5/23、6/20、7/25、8/22、9/26、10/24、11/28、12/26、1/23、2/27、3/27)

(自己評価)

集団遊びをキーワードに、ドッジボール、フリスビードッジ、わらべ歌あそび、運動会ゲーム、ミニゲームなど様々な遊びを行なった。参加人数は内容によってバラつきはあるものの、異年齢同士が協力したり、チームで応援したり、高学年が低学年の見本になりルールを守ったりと児童館ならではの様子を随所に見ることが出来た。ひまわりクラブからも毎月参加があり、ひまわりクラブの子ども達と児童館に遊びに来る子どもが交流することも出来た。

(課題と評価)

毎年の課題ではあるが、児童館という施設の特性上、人数予測やチーム編成で難しい点があった。イベントの前日など、忘れてしまわぬよう申し込みをした子に声をかけるなど、多くの子どもに楽しんでもらえるよう配慮すると共に、子どもたちへの周知が課題であると思う。危険行為をする子達には何で危ないのか、他の子ども達との安全な関わり方を解るように納得させていく事が課題だと感じた。

③ シアター (遊戯室)

(4/1、5/8、6/5、7/18、8/13、9/18、10/29、11/6、12/4、1/9、2/5、3/5)

(自己評価)

「こどもいけんタイム」などで子ども達から見たい映画やアニメをリサーチしてシアターを行なってきた。子ども達の意見を反映させることができ良かったと思う。また、ドラえもんや話題の映画シリーズ、昔ばなしなどを上映した。最新作品が利用者の集まりも良かった。「シアター」の問い合わせや関心度が高くなった事が実感として感じられた。利用者の意見が良いヒントになったため、来年度はそのあたりを意識しながら行なっていきたい。

(課題と対応)

参加人数が昨年度より全体的に多くなった。ひまわりクラブの子ども達も代休日に参加できるよう、臨時で設けたりと臨機応変に上映を繰り返してきた。親子さん参加が増えている為、今後もリサーチしながら、子ども達の楽しみの1つとなれば良いと考えている。

④ アトリエじどうかん (創作活動室)

(4/4、5/2、6/6、7/4、8/1、9/5、10/3、11/7、12/5、1/10、2/6、3/6)

(自己評価)

昨年に引き続き、ボランティアの方により「アトリエじどうかん」を開催した。子ども達が楽しみながら美術に触れることが出来たと思う。ボランティアの方がとても一生懸命にイベントを行なってくれて、絵や美術に興味のある子どもたちは毎回参加してくれるまでになった。実際、回を重ねる毎に子ども達の絵の塗り方の技法が上達していく事が感じられた。地域の方から協力していただいていることが大変嬉しく、今後も継続して行いたいイベントである。

(課題と対応)

興味がある子ども達が毎年、増えてきたように感じている。今年度はひまわりクラブからの参加者の人数は減ったが来年度も、子ども達の反応を見ながら新たな「アトリエじどうかん」の形をボランティアの方と作りあげていきたい。

⑤ 各種イベント

- ・ 亀田東児童館開館 8 周年記念祭 (4/23)
- ・ ストラックアウト大会 (5/7)
- ・ ひよこ広場/ミニ運動会 (5/25)
- ・ ドッジボール大会 (6/12)
- ・ ひよこ広場/七夕のつどい (7/6)
- ・ 七夕の集い (小学生) (7/1)
- ・ 囲碁大会 (7/2)
- ・ 夏休みお楽しみ会 (7/29)
- ・ ぬりえコンクール (7/22~8/31)
- ・ なつまつり (8/20)
- ・ オセロ大会 (9/10)
- ・ 小学生バドミントン大会 (10/15)
- ・ ひよこ広場/ハロウィン (10/26)
- ・ ハロウィンシアター (10/29)
- ・ 音楽会 (11/19)
- ・ ぬりえコンクール(12/23~1/6)
- ・ ひよこ広場/クリスマス会 (12/21)
- ・ お正月お楽しみ会 (1/21)
- ・ ドッジボール大会 (1/6)
- ・ ひよこ広場/豆まき (2/1)
- ・ ふゆまつり (2/18)
- ・ ひよこ広場/ひなまつり (3/1)
- ・ 卒業を祝う会 (3/21)
- ・ 育児イベント/ベビーヨガ (4/14)
- ・ 育児イベント/ベビーマッサージ (5/19)
- ・ 「梅シロップ」作り (6/18)
- ・ 育児イベント/親子ふれあい体操 (6/16)
- ・ 育児イベント/ママとキッズのヨガ遊び (7/21)
- ・ 夏休み工作ランド (8/25)
- ・ 育児イベント/親子でリトミック (8/18)
- ・ 育児イベント/ベビードダンス (9/15)
- ・ 中学生卓球大会 (10/16)
- ・ 育児イベント/ベビーマッサージ (10/13)
- ・ 育児イベント/県立大ミニミニコンサート (11/19)
- ・ 小学生クリスマス会 (12/17)
- ・ 育児イベント/ベビーヨガ (12/15)
- ・ 育児イベント/親子ふれあい運動あそび (1/16)
- ・ 育児イベント/親子でリトミック (2/16)
- ・ 育児イベント/親子ふれあい体操 (亀田アスパーク) (3/17)
- ・ 将棋大会 (3/18)

(自己評価)

毎年恒例となっているイベントに加え地域一体となった音楽会、なつまつりやふゆまつりでは、亀田東小学校区コミュニティ協議会の協力や江南区社会福祉協議会との連携、地域、学生、子ども達のボランティアの支えもあり盛大に行うことが出来、「まつり」だけで650名を超える来館者も達成した。地域と共にある児童館を目指し、その目標が毎年すこしずつ色濃く体現されていく喜びを職員一同実感することが出来た1年だった。来年度も地域の子ども、地域の人たちと共にある児童館を目指し運営していきたい。

(課題と対応)

イベントを企画するにあたり、より多くの子ども達から参加してもらいたいという気持ちで内容を考え、日程を調整している。毎月、毎日、日々職員間で話し合い、子ども達の意見を取り入れながらイベントを行っているが、自由来館ゆえ参加者数となって成果が表れないという時もある。それでも、次はもっと楽しんでもらいたいという気持ち

が、職員の次のやる気モチベーションにも繋がっている。今後も子ども達、地域の方たちのために全力を持って楽しんで頂ける様々な活動を来年度も行っていきたい。

⑥ いどうじどうかん

(5/20、6/7、6/24、6/27、7/26、8/7、8/31、9/30、10/19、10/24、1/12、1/13、1/19、1/22、1/29、2/6、2/17、2/22、3/6)

(自己評価)

今年度は4クラブ、4地域、4保育園、19か所に出向き「いどうじどうかん」を行った。1/29 江南区親子ふれあいまつりを含め、1456名の方達と触れ合う事が出来た。昨年よりも依頼件数が増し、活動が増えたことは、江南区全域に児童館の役割を果たす事とPRが出来るため、非常に嬉しく感じている。また、今年度は初めて地域の保育園に出向けたことも今後のいどうじどうかんの幅が広がる要因になると思う。

(課題と対応)

活動が広まっていくにあたり、段々と職員のシフトの調整が難しくなっている。児童館外の活動が増えることは職員の負担も増えるということであるが、移動用の車両は事故対応に備えるべく、今年度から「レンタカー」の使用を始めた。この点は安心して移動が出来るようになったので職員負担が軽減されたと感じる。「カプラ」だけの「いどうじどうかん」を見直す時期にさしかかった事も今後の課題である。

2 中学生・高校生等の年長児童の自主的な活動に対する支援

(自己評価)

中高生向けイベントを考える際に、どうしても試験、部活動の試合、練習などで来館が遠のく事も考えられる。居場所として児童館を求めている中高生がいるというのも事実。なので、来年度以降も継続して中高生が来館しやすい環境、使用しやすい環境を模索しながら整えていきたい。

(課題と対応)

中高生は、体も行動も大きい分、ケガや遊戯室内の故障の原因にもつながる。バスケットボールは、ゴール板が破損した事がきっかけになり、この1年間近くバスケットボールは廃止にして様子を見てきた。無くなった事で中高生の来館者数は減少したが、他のスポーツで楽しんでいる。児童館の壁の造りの問題解決もあるし、後、音の反響で、他の親子さんや女の子達には怖さを感じていたようだが、今は安心して遊戯室を利用されているのも事実である。なので、しばらくは、バスケットボール廃止で様子を見ていきたい。その代わりに、次年度は中高生向けに「学習支援」という形で入試や試験の応援を手伝わせてもらえるよう、企画を立てていきたい。

3 子ども会等の地域組織活動の育成助長及び指導者の養成

①こどもいけんタイム (創作活動室)

(4/14、5/26、6/23、7/21、8/11、9/22、10/13、11/10、12/8、1/19、2/9、3/9)

(自己評価)

毎月行なっているこどもいけんタイムであるが、参加すると活発に意見を話してくれ

て有意義な話し合いを行うことが出来た。少しずつではあるが、行事のボランティア活動に参加をしてくれるようになったので、来年度も続けていきたい。

(課題と対応)

こどもいけんタイムが自発的に子どもの意見を聞く場だという事が少しずつではあるが、定着してきて、活発な意見や要望が出された1年だったように思う。中学生の意見も色々聞く事が出来た。社会情勢や政治の話まで…。そのために児童館がみんなのしたい・やりたいが実現できる場所であると認識してもらうべく、意見を無駄にせず、実現に向けて行動を起こさねばならないと痛感した。(出来る範囲ではあるが)次年度も、子ども達に耳を傾ける姿勢を続けていきたい。

4 子育て家庭の支援

①ひよこ広場 (毎週水曜日 10時30分～)

(自己評価)

昨年度同様に今年度もたくさんの乳幼児親子が参加してくれた。亀田東児童館の特徴である広い遊戯室を使ってかけっこなど運動面や目で見て楽しい、耳で聞いて楽しい内容に工夫を凝らした。職員による「寸劇」は毎回、お母さん達の笑いの場となり、少しでも癒しの場となれた事に嬉しさを感じた。また、就園を間近に控えた保護者の方に好評だったのは団体でのチーム行動や知的要素を取り入れた活動であった。そこで自分の子どもの成長を実感したという声も聞かれ、来年度も保護者の声を聴きながら、楽しい取り組みを行っていきたい。

(課題と対応)

参加人数が増えるにあたって、駐車場の問題やトラブル、事故等に一層注意を細やかにしていかなければいけない。亀田東小学校やひまわりクラブなど近隣の施設に協力を頂きながら駐車場の問題に取り組んできた。来年度、駐車場の状況がどうしても対策が尽きたら、児童福祉係の方と相談していきたい。もう一点は、企画が楽しくても、子ども同士のケガにつながっていくようであれば意味をなさないの、その点も職員間で連携を密にしていかなければいけないのも必須である。(保護者のマナーがいいのがとても有難かった。)

③さくらんぼくらぶ

(自己評価)

対象が0～1歳の親子さん向けの行事なので、「ひよこ広場」よりは参加者が限られてきた。3年半の間、職員が思考錯誤しながらイベントを提供してきたが、時間の設定や内容の取り組みの難しさ、近隣に子育て支援センターがある等、検討を重ねた結果、次年度は育児イベントのみの続行と、保護者の要望や意見を取り入れて、曜日は決めず自由にふれあい遊びを提供する事で様子を見ていきたい。

でも、この場で育ち、「ひよこ広場」への繋がりをつけられてきた事は間違いない。イベントは無くしても、地道なお母さんへの寄り添いや声かけは今後も職員一同努力をしていきたい。

(課題と対応)

参加者数は多くなかったが、大事な語らいの場である事からこういう場を大切にしていきたい。皆さんが話しやすいきっかけや保護者同士の繋がりをつけていける場を今後もつくっていききたい。地味な活動ではあるが、乳幼児さん親子の居場所としても繋がって

いくよう努力していきたい。

④育児イベント（毎月1回）

（自己評価）

お母さん達の声やニーズをリサーチしながら毎月行ってきた。まずは無事故で終えた事に安堵している。お母さん達と子どもの触れ合いの場になったり、お母さんのリラックスの場になったりと色々な意味で好評の場であった。今年度は、「学生コンサート」を実施する事が出来、お母さんや幼児さん達にも喜ばれていた。学生の発表の場を提供できる事と親子さんからのアンコールの声が高かった事で次年度も企画していきたい。職員劇団は「ひよこイベント」に実施し、毎回好評を得る事が出来た。

（課題と対応）

また次年度も大学や専門学校にも声をかけ、学生の発表の場となれるような劇、歌、ダンスや人形劇などのイベントも組み込んでいきたい。
親子で楽しめる工夫と安全面を考慮しながら楽しい児童館イベントを今後も考えていきたい。

5 その他地域の児童の健全育成に必要な活動

今年度は第13回、第14回の亀田東児童館運営協議会を開催した。亀田東小学校長をはじめ、亀田中学校長、亀田中学校地域教育コーディネーター、亀田東小学校区コミュニティ協議会会長、江南区社会福祉協議会、保護司、指導保育士、児童委員の方々を委員とし、今年度は委員9名で行えた。今年度の協議内容はおおむね例年通りに年間行事予定、移動児童館の報告や利用者推移について議論され忌憚のない意見を出していただいた。そして何よりも、委員の方たちが児童館の必要性を理解していただき、児童館と一緒に広め、盛り上げてくださることが心強かった。そして、地域密着の児童館を目指し、来年度も、より良い児童館にして行くために御尽力いただけるよう、児童館運営をさらにより良くしていきたいと思う。新たな「学習支援」のイベントの実施を目指し皆さんと共に歩む「亀田東児童館」である事を次年度も訴えていきたい。

総括・評価

今年度も年間利用者数で親子さんの来館者が大幅に増えたことが、私たちにとって何よりの励みとなった。それは、1年間地域の子供達やその保護者に児童館を利用してもらう中で、私達職員の課題を常に皆で話し合い、視点を同じにして業務をチームで頑張ってきた事が保護者の方に理解や共有をして頂けたと思っている。しかし、だからといって反省点や改善点が無いわけではない。日々の業務やイベントを通じて、その都度反省・改善をし、それを次に活かしていくことがより良い児童館を作る上で大切だと私たち職員が分かっているからである。今年度の成果に驕ることなく、来年度も私たちは日々の業務を大切に、一步一步地域の人たちに必要とされる児童館を作りあげていきたいと思う。